



企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/> まちづくり・市民参加

雑古紙回収にご協力を

清里地区自治会連合会長

松下博寿

清里全地区に雑古紙回収庫が設置され、雑古紙回収が地区全体の事業としてスタートいたしました。

「なぜ雑古紙回収なの？」と疑問に思われる方もいると思います。前橋市に於いては全市民が毎日出される可燃ゴミの量が年間十一万二千トンに達しており、この内六六％は紙類であり、総てのゴミ最終処理費用まで含めると四十二億円もかかっております。この六六％を占める紙類を、各ご家庭で分別していただき、雑古紙回収庫に格納（格納分は全て再生紙等になりサイクルされます）していただければ、当清里地区から可燃ゴミとして出される量を極力少なく出来、市の焼却費節減にも寄与できます。焼却により排出されるCO2を極力少なくし、環境保全を図り、次世代を担う子供達に安心して生活できる地球環境を引き継ぐことを目的に、清里まちづくり協議会の事業として、雑古紙回収を実施するものであります。

従来、清里地区は、PTA・子供会が中心となり、年4

回、有価物集団回収を行い、清里地区からのゴミ排出量の削減に努め、その奨励金を活動費として有効利用していることから、今回の雑古紙回収はPTA・子供会が主に扱っている、ダンボール・新聞紙・雑誌・牛乳パック以外の日常燃えるゴミとしてゴミ集積場に出されている紙類を分別保管して、各町に設置された雑古紙回収庫に格納していただくものです。

「雑古紙分別方法については、各地区毎に説明会を実施済みで、多くの皆様にご参加していただきましたが、説明会時の資料等必要な方は、各町の自治会長までご照会下さい。」

「雑古紙ってどんな紙？」については、下図をご参照下さい。各ご家庭・各部屋にあるゴミ箱の隣に紙袋を置いていただき、その都度分別していただくことを習慣づけていただければ、あまりご負担をかけず、焼却するゴミと雑古紙との分別は可能と思慮致します。

雑古紙回収庫は、原則雑古紙を格納していただくものですが、手狭で格納場所にこまごご家庭、雑古紙格納時に、一緒に持ちいただいた物は、格納していただいてもかまいません。

ただし、子供会・PTAの皆様による有価物集団回収は、従来どおり実施致しますので、ダンボール・新聞紙・雑誌・牛乳パック等は「有価物集団回収時にお出し下さい。」

子供会等が実施する集団回収

取時には、回収庫に保管されている「ダンボール・新聞紙・雑誌・牛乳パック」は子供会等へ拠出致します。清里地区から出される可燃ゴミの搬出量を地区住民皆様のご協力を得て、極力削減する本事業にぜひご協力下さい。

「雑古紙」って、どんな紙？

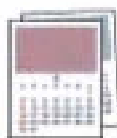
パンフレット、カタログ、チラシ類



包装紙



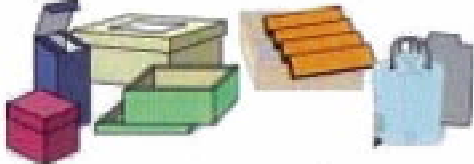
カレンダー



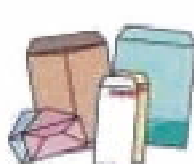
紙の袋



紙の箱、洋服などの台紙



封筒



ノート、メモ用紙、コピー紙



次のような紙類は、混ぜないで！

- よごれた紙
- 臭いのついた紙（「石けんや洗剤の容器 や 包み紙」など）
- 特殊な加工がされたもの
 - ・コーティングされた紙（「写真」「感熱性のファックス用紙・レシート」「防水加工された紙コップ や 紙皿」など）
 - ・アルミ箔 や プラスチックフィルムなどを張り合わせた紙（「ジュースのパック」など）
 - ・カーボン紙（「宅急便の複写伝票」など）

ごみを減らすために

可燃ゴミの約半分が「紙類」と、いられています。小さな紙、破れた紙などは、「紙の袋」に入れると集めやすいです。

みんなで、
紙リサイクルの
環を広げよう！



青梨子町前原雑古紙回収庫の様子



上青梨子町 雑古紙回収庫の様子



雑古紙回収について

上青梨子町自治会長
湯浅眞司

雑古紙回収を四月よりはじめました。

最初は、PTA・子供会が行う有価物集団回収品目以外の物から始めましたが、順次新聞紙、雑誌等が増えてきました。上青梨子町は、世帯数が少なく、古紙だけだと数量的に少なく、全紙回収の方向で今後も進めたいと

思います。ただしPTA・子供会が実施の廃品回収時には、格納庫に集積された分も回収していただきたいと思います。まだまだ全家庭からの回収は行われていませんが、再度回覧等で雑古紙回収を依頼したいと思っておりますので、ご協力の程お願い致します。

全家庭への鍵配布については、一年間の結果を見て判断したいと思えます。古紙回収を始めた事で、燃えるゴミの量が極端に減り、当初の目的である償却費節減に繋がるものと思えます。古紙置き場に遠い人はゴミ置き場に出しているのを見かけますが、環境問題等含めリサイクルの重要性をご理解いただき、ご協力いただきたく、お願いいたします。



まちづくりは人づくりから

子育て考(3)

松下熙雄

戦前の我が国の教育、とりわけ家庭、親にあつては親権が確立しており、わが子が人さまに迷惑をかけた時、犯罪や非行を起こしてはわが家の恥であり、また親族も同じであった。これを私は日本人がもつ「恥の文化」といつている。だから今日のよに経済的な豊かさのない時代に育つても、わが子は人さまにご迷惑をかけまいとして真剣に幼児期より厳しい家庭教育がなされてきた。その中には、人間として生きていくための基礎基本となることば遣い、礼儀作法、勤労の大切さ、善悪の判断力などがあり、厳しく躰けられてきた。また、親には親権があり、親として子供から絶対的な信頼と尊敬を得ていた。

世界各国の教育事情を視察する機会があつたが、アメリカ、イギリス等の国はキリスト教系の私立学校が多く、その宗教心に支えられた教育で道徳性が培われていた。韓国では戦前の日本のように儒教的精神により親と先生は絶対的な力を持ち、子供からも信頼・尊敬され、社会からも尊敬され、先生の社会的地位は非常に高いものであつた。

また、オーストラリアのホームステイで七日間、家庭教育の実態を体験することができた。父親は31歳で小学校教頭、母親は30歳で大学非常勤講師、3歳と1歳の子がいた。生活も規則正しく六時に起床、音楽にスイッチを入れて家中を走ったり、ゴロゴロしたりして体操をする日課である。テレビは子供に見せたい番組だけ母親と一緒に指導しながら視聴し、その番組が終了すると子供に消させる。テレビを継続して見たいと泣くと子供部屋に入れてしまふ。しばらくすると泣いている子供部屋をノックして、子供を強く抱きしめながら教育している。オーストラリアでは、15歳のころ親離れ、子離れが行われる。それまでにどこにだしても恥ずかしくない、一人の人間として生きていける力をわが子に厳しく育てるのである。親離れ、子離れが行われると以後は全責任を子供に持たせ、子供の自己責任において行動させ、温かく見守っているだけである。子供は親に迷惑や心配をかけまいと自律心に満ちた行動をする。日本でも昔から立志式とか元服式が行われていた。「恥の文化」の大切さ、「老人の智慧」を子育てに生かそうではありませんか。